

公表 事業所における自己評価総括表

| | | | |
|----------------|------------------|----|-------------|
| ○事業所名 | 放課後等デイサービス ルミエール | | |
| ○保護者評価実施期間 | 令和7年12月1日 | | ～ 令和8年1月20日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 27 | (回答者数) 24 |
| ○従業者評価実施期間 | 令和7年12月1日 | | ～ 令和8年1月20日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 9 | (回答者数) 9 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 令和8年1月25日 | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|--|--|--|
| 1 | 療育の経験の長い職員が多く、子どもたちが安心して通うことが出来ているとの声をいただいた。 | 児童一人一人に合わせた個別支援計画を作成し、活動の中で個々に必要な取り組みを取り入れている。希望を受け、随時保護者からの相談を受けられるようにしている。 | 引き続き、よりよい支援につながるよう勉強会や研修会などを実施していく。保護者支援として、面談の他に懇談会等保護者同士の関わりを大切にできる機会を作っていく。 |
| 2 | 公式ラインによる保護者との情報共有。 | 公式ラインを利用して児童の無事故到着報告を行い又、その日の支援状況の画像を保護者に送信して安心していただいております。職員も同時に情報を共有でき対応に支障をきたさないように努力しています。 | 情報共有を拡充して保護者の方々に細かく事業所での状況を把握していただくことで事業所との信頼関係をより築き児童の安心で心地よい環境を提供できるよう努めます。 |
| 3 | 児童の将来の方向性及び社会性を養う為の療育。 | 時としてのお出かけ体験で児童自身で切符を買ったり、目的地の確認、行き方等、社会に適應できる経験を養っていく取り組みを実施している。 | 社会見学等児童自身で経験できることを模索し体験して社会性を身につけて将来の糧となるよう努めます。 |

| | 事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|---|---|--|
| 1 | 事業所が古く使いにくさがあるが内装等改修しながら対応している。 | 施設的环境改善の為部分的に改修等行っている。 | 引き続き日々の清掃を行いきれいに維持していくとともに、施設内が明るく楽しい場所になるよう季節の装飾など子どもたちが楽しめる雰囲気づくりをしていく。 |
| 2 | 感覚遊戯を室内に設置できる場所がない。 | 天井等の状況から感覚遊戯設置の為の設備をつけることが出来ない。 | 感覚遊びのできる設備を据え置きのもので検討していく。又、外遊びのスペースはあるので大縄跳びや、鬼ごっこ等児童の要望に対応して楽しめるよう実施していく。 |
| 3 | 父母の会の活動や保護者会の開催、交流の不足。 | 保護者との交流機会の不足により保護者、家族への支援プログラムが提供できてない。 | 今後の取り組みとして保護者との交流の場を設け、引き続き連絡帳並びに公式ラインを通して頻繁に連携をとる。又、児童を含めたイベントの開催で保護者同士の交流も図っていく。 |